

1, 本園の教育目標

- ・より強く・・・健やかな身体を育む
- ・より明るく・・・豊かな感性と安定した情緒を培う
- ・よりなかよく・・・社会性を身に付ける

2, 本年度の重点目標

教育指導要領の変更に伴い、その内容を理解し実践する。
 具体的には、主体的対話的、深い学びを充足すること。
 子どもが自ら感じて、考えて、行動する生活を保障する。

3, 評価項目を取り組み状況

評価項目	取組状況
保育目標・指導計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> ・学年毎に年齢に即した目標を定める。 ・学年毎に子どもひとりひとり個別に目標を定める。 ・年度初めに前年度の反省を踏まえて、職員の意思統一を確認。年度末には職員各自が1年を振り返り反省し、次年度に繋げる。
保育の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回子どもの発達評価を行い、子どもの発達を客観的に把握する。 ・毎週1回職員会議を行い、1週間の振り返りと反省を行う。翌1週間の予定を打ち合わせ、反省点を改善する。 ・毎朝職員会議を行い、その日の目標・計画・ねらいを全職員が発表する。直近の注意事項などの通達。 ・毎日保育後に担任全員で振り返りを行い、その日の保育を共有する。
研修	<ul style="list-style-type: none"> ・園内外の研修を行い、人間性と保育の専門性を向上させる。 宿泊牧場研修（吉川牧場）、野外活動研修（ウレシパモシリ）、講習（幼造研）（練私幼）、園内保育研修（平田先生）、救命救急研修
発信	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育現場の取組、保育の実践を広く発信する。 ・クラスだより・掲示板・ホームページ。 ・練馬区子育て支援事業「ねりまこどもカフェ」参加協力。

4, 総合的な評価結果

一人ひとりの教職員が自らを客観的かつ具体的に自己評価し、課題を明確にした上で新たな目標を定めることに繋げる。

5, 今後取り組む課題

課題	具体的な取組方法
特別支援事業への理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害についての学習に努め、理解を深める。発達支援センターの訪問指導を要請し、個別の指導を受ける。 ・ 保護者からの情報を積極的に求め、ともに取り組む姿勢で臨む。
コミュニケーションを深める	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年を超えた情報交換をさらに深め、保育の成功例や手ごたえのあった取り組みを紹介し、共有する。 ・ 担当する係や分担された作業を互いに手伝ったり、助けを求めたりして、全体として速やかに貫徹できるような関係を築く。 ・ 得意とする人に遠慮なく指導を求めたり、助けてもらえるよう声を挙げる。
養護	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども、職員が具合が悪くなった時に横に慣れる設備が不十分なので充実させたい。
発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園保護者に関わらず、広く世の親への啓蒙を強化し、子ども主体の保育を理解してもらえるように清心幼稚園の保育を発信していく。

清心幼稚園 令和元年度 学校評価会議 議事録

○開催日時 令和2年3月14日（土）午後2時～3時

○会場 清心幼稚園保育室

○出席者 平田智久 他6名

○司会 清水早苗

○会議の流れ

- ・司会者より始まりの挨拶
- ・評価委員の紹介
- ・清水園長より清心幼稚園の令和元年度の取り組みを報告
- ・各評価委員から質問
- ・各評価委員の評価（意見・指導）
- ・清水園長より言葉
- ・司会者より終わりの挨拶

○評価委員からの意見

- ・もっと発信すべき・
- ・保育の様子を外部から知ることができないので、もっとオープンにした方が良い。